

“Gush”

水谷浩章 contrabass

加藤崇之 guitar

芳垣安洋 drums

2022 08月03日 (水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink 600 ~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



加藤 崇之

大学在学中、19才でプロ入り。28才の頃より自己のリーダーとしての活動を開始。米軍キャンプでのディスコバンド・ブラジル人とのサンババンドの経験など幅広い活動。多くのレコーディングに参加、多くのミュージシャンと共演する。次第に、必然的に演奏スタイルがフリーに向かい、1987年頃にはすでにエフェクターでのフリーな実験的Soloを始めていた。フリーな演奏への挑戦からフリーユニット「渦」NEW渦が生まれる。「NEW渦」は始めは宅・山崎とのトリオであった。現在、自己のバンドである加藤崇之トリオ「ギタースタANDARD」「NEW渦」「エレクトリック渦」「SoLo」の他、宅朱美 (Vo) とのDUO「夢」、さがゆき (Vo) とのDUO「シナプス」、蜂谷真紀 (Vo)、永塚博之 (B) との「アコースティック・ノイズ」、松風鉦一 G、宅朱美 G、今村裕司 G、田村夏樹 G、等で活動。渋谷「ではイギリスの世界最大ロックフェスティバルであるグラストンバレー」他、メールスジャズフェスティバルなど海外での活動も多い。あらゆるミュージシャンとのフリージャズや、インプロの交流、時々ブラジル音楽の歌手らとの共演など、積極的にライブ活動を行っている。

水谷浩章

20歳の頃より音楽活動を開始。アコースティック・ベースを吉野弘志氏に師事。リーダー作として、LowBlow / カフェおじさん、phonolite / while i'm sleeping、phonolite trio and ensemble / My HeartBelongs to Daddy、phonolite / Still Crazy。自主レーベル mizmic より、うずらぎぬ、phonolite strings、Gush! / Bolero をリリース。主な参加バンドは、松風鉦一カルテット、今堀恒雄 "Tipographica"、南博 "Go There"、大友良英 "NEW JAZZ QUINTET" → (ONJE) → (ONJO) → (ONJT)、山下洋輔 "4G Unit"、坂田明 Trio、芳垣安洋 "EMERGENCY!"、津上研太 "BOZO" 等。現在は、自己のグループ "phonolite" (木管、金管、弦楽器を含む 12 人編成の変則ジャズ・オーケストラ)、"phonolite trio" (中牟礼貞則 g 外山明 ds とのトリオ) の他、幅広い活動を展開している。
<http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~mizmic/>

芳垣安洋

打楽器奏者、作編曲家。ジャンルを飛び越えてピートとメロディーを紡ぐ打楽器奏者。兵庫県出身。'90年代、Altered States、モダン・チョコチョコキズ、波さ知らず、Ground Zero、ROVO、DCPRG などのジャズ〜アヴァン・ポップを牽引したバンドのメンバーとして活動。大友良英、内橋和久、スガダイロー、山下洋輔、坂田明、菊地成孔、柳原陽一郎、おおはた雄一、UA、ROLLY、カルメン・マキ、ホッピー神山、レナード衛藤、ヤドランカ、ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーンなど様々なミュージシャンと共演。大編成ジャズグループ「オルケスタ・リブレ」打楽器アンサンブル「オルケスタ・ナッジ! ナッジ!」ピアノトリオ「オン・ザ・マウンテン」など多様なグループを主宰。海外公演も多数。「リズム & ドラムマガジン」にコラムを連載中。文学座などの舞台演劇、「Co. 山田うん」などのコンテンポラリー・ダンス、映画、TVドラマ、アニメーションなどの音楽制作にも数多く携わる他、大友良英が音楽監督を務める2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の音楽制作に深く関わる。
<http://y-yoshigaki.com/index.html>